

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成25年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 平成17年度
大項目基本構想: 04 土台となる政策「安全・安心」
中項目基本計画: 06 誰もがいつでも安心して暮らせるまち
小項目施策: 21 高齢者福祉への充実
事務事業名: 11 老人医療給付事業

事業の目的
対象(誰・何に対して): 65～69歳の寝たきり・一人暮らし老人(ただしS17.9.30以前生まれの者)
目的(何のために): 高齢者の適切な医療の確保を図るため、医療費の一部を給付することで高齢者の福祉増進に資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 高齢者のうちでは社会的弱者に対して適切な医療の確保を行うことで疾病の重症化を防ぐ。

事業の実績
事業名: 老人医療給付事業
事業の説明: 69歳の一人暮らし高齢者に係る医療費を支給する。
優先度: ◎

事業費等
事業費等: 0
必要人員: 0.00人
事業費計: 0
国庫支出金: 352
受益者負担: 97
結果指標名: 受益者負担比率

結果指標
結果指標数: 1人当たり単価
結果指標量: 5
対前年比: 45.5%
活動コスト: 783,000
単位当たりコスト: 156,600

事業の成果
成果指標名: 年間1人当たり支給件数
年度: 平成23年度, 平成24年度, 平成25年度
目標値(A): 21
実績値(B): 19.67
達成率(B/A): 93.67%

事務事業の評価
市の関与の必要性: C
効率性の評価: C
有効性の評価: C

進行年度(H25年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: 平成23年9月で制度廃止

総合評価
総合評価: C
岡山県老人医療費負担補助制度は平成23年9月末で廃止されており、今後は過剰等による返納金が発生する可能性がある。

平成26年度の方向性・取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 平成23年9月で制度廃止

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな